

まちのわだい

あなたの周りで起きた出来事や楽しい話題、イベントなどの身近な情報をお待ちしています。

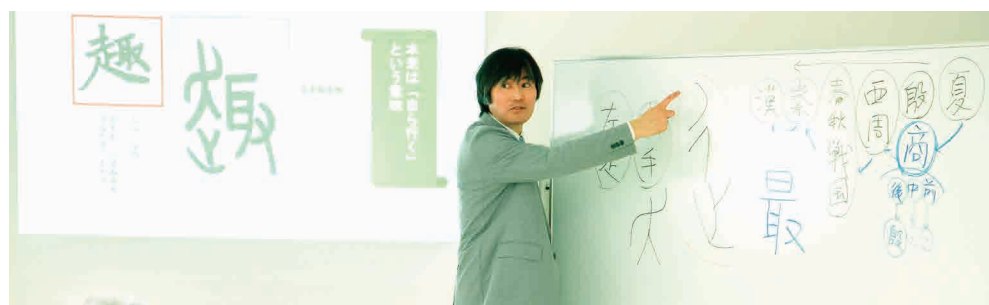
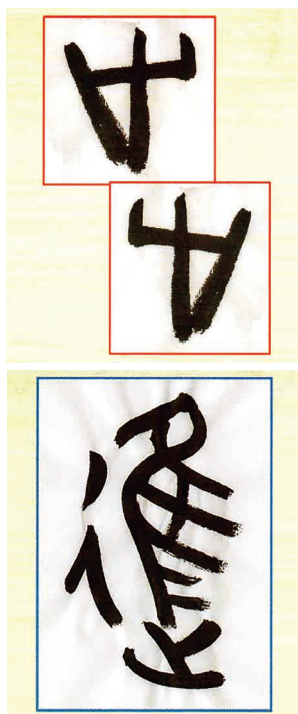
▷問い合わせ 広報情報係
(☎223局3569)



漢字の成り立ちを知って学びを楽しむ

2月19日 芦屋小学校区祖父母学級×九州女子大学

九州女子大学との包括的地域連携協定の一環として、昨年度に引き続き、古木誠彦准教授から漢字の成り立ちを学びました。今年度は「漢字のはなし PART 2」と題し「足・走・行」などを基本に人の足に関わる文字の成り立ちを楽しく解説。一文字、一文字の説明のたびに「へーっ!」「ほーっ!」という声があちらこちらから聞かれ、あっという間の2時間でした。「漢字の成り立ちが分かって面白い」「えっ!と、びっくり!字って楽しいですね」「学べば学ぶほど、とても楽しいです」という感想が聞かれました。



日々の料理はおいしく健康!

2月16日 出前講座×浜崎区サロン

浜崎区のフレッシュサロンみさきで「生活習慣病予防の食生活」をテーマにした出前講座が行われました。食事のバランスで心臓や脳を中心とした血管の病気の予防につながることを学び、実際に調理した料理をみんなで食べました。「減塩を意識して作られ、家庭の味よりも薄味でも、おいしいと感じられる」と健康を意識した料理で毎日続けられそうだと話していました。



茶の湯文化体験で成長した子ども茶人のおもてなし

2月22日 緑ヶ丘保育園卒園茶会

緑ヶ丘保育園では茶の湯文化を体験してもらおうと、1年をとおして年長児に茶道の稽古を行ってきました。座敷への入り方や歩き方、床の掛け軸や生けられた花の拝見の仕方など、学んだことを一つひとついねいに取り組んでいました。講師の古野嘉子さんは、園児たちの動きに合わせて作法などを保護者に解説していました。園児たちは家族の前で抹茶を点て、飲んでもらい、恥ずかしがりながらも満足そうにしていました。



卒業証書を手に歩む姿に感じる成長

3月12日 芦屋中学校卒業式

3月17日 小学校卒業式

芦屋中学校と町内3小学校で卒業式が行われ、121人の生徒と109人の児童が卒業しました。新型コロナウイルス感染症の影響で、これまでとは違って縮小されて、卒業生と保護者、教員だけで行われた卒業式。短い時間ながらも思いのこもった卒業生の言葉や歌声を聞きながら、わが子の成長を感じ、それぞれの学び舎での生活を振り返りながら保護者も胸を熱くさせていました。担任の先生からは卒業生の明るい未来へとメッセージが送られました。



子どもたちに読書の楽しさを

3月13日 若松法人会図書贈呈×芦屋小学校

公益社団法人若松法人会から芦屋小学校へ86冊の図書が寄付されました。子どもたちが「調べてみたい」「知りたい」という興味・関心や意欲を高めるようにと、図鑑を中心にさまざまな本が選ばれました。石橋勝志校長は、「この機会に子どもたちが本に触れ、新しいことを知ることに對して好奇心を持ってくれたらいいと思います」と話していました。

